資格取得サポーター紹介

「漢検」「英検」「数検」
中学生になって初めて聞く人もいるのではないでしょうか！

井草中学校を準会場として検定を行い、申し込み手続きや当日の監督をするのが資格取得サポーターです。監督は保護者のＯＢや学生ボランティアにお願いしています。

生徒が通いなれた中学校で受検することの利点は、遠くまで行くリスクをなくし、なじんだ教室でリラックスした気持ちで受検できることです。１学期には英検と漢検、２学期はそれに数検が加わります。年々参加者が少しずつ増え、２学期の漢検は１１０人を超え、３年Ｉ組は全員参加となりました。

初めての受検に緊張の面持ちや、何回目？余裕の顔や、時間の許す限り問題集に取り組む姿も試験が始まると真剣そのものです。

それぞれの頑張りが結果となる検定を、受験のためだけでなく、目標をもって勉強する機会と考え、多くの人がチャレンジしてくれたらと願っています。

資格取得サポーター
岩崎　初音

～ お 知 ら せ ～

１１月１日　　待望の新体育館使用開始！！
１１月２６日　　井草フェスティバル開催！！
１２月２１日～２８日　引越し作業
２４年１月より新校舎授業開始！！

教育委員会の小中一貫教育制度により

井草中学校と近隣の小学校による多様な取り組みが始まりました。そこで、我々ＣＳ委員も近隣の小学校ＣＳ委員との交流や情報交換、また、小学校で行われる行事へ参加するなど連携を深めてまいります。

近隣地域に住む子どもたちにとって、より良い学びの連続性を探求し、必要な地域人材を投入できるシステム、また、卒業生や地域力の循環を円滑に遂行するために、これから先も各学校運営協議会の存在意義を認識し尊重しあいながら活動を続けてまいりますので、関係各位、ご理解ご協力宜しくお願い申し上げます。

寺田先生の突然の体調不良により、１０月から池田校長をお迎えしました。我々ＣＳ委員も池田校長をサポートし、また、時には議論を交わしながら井草中の伝統にのっとり「井草魂」の継承に努めてまいります。

ＣＳ委員一同

井草中CS(コミュニティ・スクール)便り

第 10 号

2011 年 11 月 21 日発行　CS広報部会

井草中学校　文部科学大臣表彰受賞！

平成２３年度 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰

文部科学省は、学校支援本部や放課後子ども教室、コミュニティ・スクール等に基づいた地域の方々による学校支援活動のうち、特に活動内容などが優れていると認められる全国１２０の活動に対し、活動の一層の推進のために文部科学大臣表彰を行いました。井草中学校は東京都から３校受賞したうちの１校に選ばれました。（その他２校は小学校）表彰式は去る１１月７日に文部科学省講堂にて行われ、井草中からは坂野学校運営協議会会長が代表して授与を受けました。

なお、地域の方々による学校や子どもたちへの支援活動を文部科学大臣表彰するのは今回が初めてのことで、記念すべき第１回の受賞ということになりました。

詳細は、文部科学省のホームページをご覧ください。

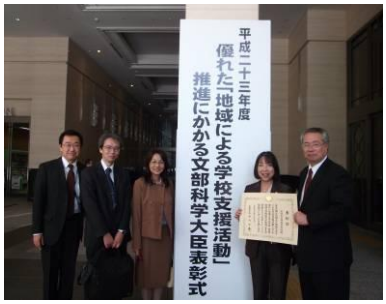
表彰状

杉並区立井草中学校殿

貴活動は日頃より地域の方々による学校支援活動において優れた成果を収め学校・家庭・地域の連携協力の推進に多大な貢献をなされましたここに奨励のためこれを表します

平成二十三年十一月七日

文部科学大臣　中川正春



皆様、よろしくお願い申し上げます。

井草中　校長　池田　武男

本校に着任してから１ヶ月が経ちました。このＣＳ便りには初めて寄稿いたします。学校運営協議会、学校支援本部、そして地域関係者・ＰＴＡの皆様、どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、年度途中の異動は異例なので、さぞかし皆様にも驚きと戸惑いがあったのではないかと察します。ましてや、井草中を地域運営学校として、ここまで強いリーダーシップで牽引してこられた寺田節子先生が、このような急な形で退かれるとは誰も想像しなかったと思います。偉大な前校長より引き継ぎ、正直なところ右往左往している有様です。皆様には、学校ばかりかこの新米校長も支えていただければ幸いです。

井草中は、地域運営学校としてすでに５年目を迎えておりますので、連携組織は盤石です。すると、井草中生徒にとって何が必要かをもう一度洗い出し、その実現のためのアイディアを募り、具体的な計画を立てて実行するのが私の使命だと考えます。完成間近な校舎にも可能性があり、夢は大きく膨らみます。このワクワクする気持ちを大事にしながら、これから、井草中の学校運営に全力を傾けていく所存です。

CS交流研修会

教職員とのまじめな交流会

CS 委員
教職員
支援本部
PTA
合同の
勉強会

（８月２６日）

テーマを決めて斬新に発表！

CS・支援本部・学校そして生徒の力

ＩＳＳ
の活躍
井草地域区民
センターにて

（９月１１日） ISS の出店は地域の待望！

吹奏楽部
の活躍
井草地域区民
センターにて

地域との連携や共存に吹奏楽部も大活躍！

学校説明会　（9月１７日）

（三谷小体育館をお借りして）

（開催前のひと時・・）

先生だけではなく
CS 委員や支援本部も駆けつけました！

学校選択には必須、学校説明会（改築のため三谷小体育館をお借りして）

↓開室時に貼られるポスターです。

井草 図書サポーター

金曜日 放課後

開室

井草中学校の図書室は、毎日昼休みと放課後に開室をしております。

本年度６月より杉並区学校司書が配属され、毎日放課後の開室ができるようになりました。また、現在ＰＴＡの方にも３冊まで貸出しができるようになりました。

その中で“井草　図書サポーター”は、卒業したＰＴＡと現役ＰＴＡがサポート登録をし、現在２２名が登録しております。毎週金曜日の放課後、図書室開室のお手伝いをし、学校司書の方が研修等で不在の時は代理で貸出し業務を行います。また、図書の貸出し以外にも月１回の図書整理日には、本のカバー掛けや修理のお手伝い、配列の乱れ直しもしております。

新校舎落成に向けて、子どもたち図書委員会、学校司書、図書サポーター全員で力を合わせ、より良い図書室にしていこうと思っています。調べ学習、テスト前、検定試験前など・・・いつでも是非とも図書室を利用してください。

図書サポーター　　小向　祐子

リレーエッセイ ―井草中探訪 第１０回―

井草中学校　CS 委員
“ホッと”すぺーす担当　小口　和子

私の仕事は・・・・主婦！？

「地域で子育てを！！」を合言葉に舞台芸術鑑賞や自然体験活動など「親子共有の時間」を楽しもうと２０年近く地域でＮＰＯ活動を行っています。

子どもが井草中学校を卒業し三年たった頃、とあることから井草中学校に行くことになりました。それまで全く中学校の様子などは耳にすることは無かったし、どうなっているか・・・・？などは考えもしませんでした。

その後、「文部科学省放課後居場所づくり事業」の立ち上げで、寺田校長先生のお考えをお聞きした時、何か井草中が大きく動こうとしている。この大きなうねりの中、自分は何ができるはわからないが、「この波に自分ものってみたい」と思ったのが最初の一歩でした。そして立ち上げたのが現在の「井草“ホッと”すぺーす」です。放課後生徒同志、クラスの様子や、部活のこと、クラスの席替えを班長が集まり、一生懸命考えている様子など・・・授業が終わり部活までの間、ちょっと緊張感のゆるんだ時間に少し本音が出る“ひととき”となっています。

そんな時間を通し、関わることで自分自身生徒から“力”をもらっています。

今、学校は地域の中にあり、その地域の一員として皆さまも一歩踏み出してみませんか。